

多様、公正で包摂的な美の創造の更なる推進を目指し 「日本ロレアル DE&I コミッティ」を設立

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）の日本法人である日本ロレアル株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：ジャン-ピエール・シャリトン）は、ロレアルグループのパーパス（存在意義）における重要な柱のひとつである DE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン：多様性、公正性ならびに包摂性）の職場環境への浸透を推進するため、社内委員会「日本ロレアル DE&I コミッティ」を設立したことをお知らせします。

「世界をつき動かすような美の創造」をパーパスとして掲げるロレアルにとって、美とは多様、公正であり包摂的なものです。全世界の一人ひとりにテラーメイドの美を提供するという世界観のもと動いている当社にとって、多様性は創業当時から企業文化に根付いています。ジェンダーや人種、国籍、セクシャリティなどを問わない雇用や昇進を掲げるなど、これまでも DE&I の社内外への浸透に向け、取組みを推進してきました。そしてこの度、高まる DE&I に対するニーズにあわせ更に進化し続けていくため、グループが展開する全世界の各拠点で、DE&I に関する社内委員会を設置。日本においても、同取組みを推進する社員リーダーである DE&I コレスポンデントを中心に、4 人のメンバーから成る委員会を立ち上げ、取組みを加速します。2022 年度は、ジェンダー平等（女性のエンパワーメント、LGBTQIA+に対する配慮）における課題に特に焦点を充てていきます。

<現時点までで日本ロレアルとして、実装・達成済の事柄>

- ジェンダーパリティ
 - オフィススタッフ女性管理職 52%実現（オフィスで就労するスタッフのジェンダー比とほぼ同割合）
 - 女性役員比率約 40%実現（2025 年までに 50%の達成目標）
- 採用時の応募入力項目より「性別」欄を撤廃もしくは任意入力へ変更
- 多様な国籍からなる社員構成（在籍社員の国籍は約 30 か国²）
- 法定基準以上の障がい者雇用の実現（特例子会社さいわいファクトリーの設立など）



<今後、日本ロレアルとして 2022 年度に予定している活動>

- ジェンダーを含むアンコンシャスバイアスについてのオンライン研修の全社員への展開
- LGBTQIA+に配慮した職場環境づくりのためのコミュニティの形成
- 外部有識者による社内講演会の実施
- 男性社員の育児休暇・休業等の取得率伸長のための活動の展開
- DE&I に関するワークショップの実施（対象：オフィススタッフ）
- DE&I に配慮した接客トレーニングの実施（対象：美容部員） など

日本ロレアル代表取締役社長であるジャン-ピエール・シャリトンは次の通りコメントしています。

「日本ロレアルは、『世界をつき動かすような美の創造』をパーパスとして掲げています。美とは多様で公正、包摂的なものです。当社は DE&I を推進する組織の創設を決定しました。それは、DE&I が人間の基本的価値であることを超え、多様、公正で包摂的な職場環境を促進し、当社と当社のチームが、よりクリエイティブな仕事を行い、協力しあう精神を育めるよう支援をしていくためです。DE&I コミッティのミッションは、当社にとって重要な優先事項であるジェンダー平等を中心に据え、アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に取組み、ジェンダーや国籍、人種、セクシュアリティを問わず、すべての違いを互いが尊重しあい、すべての社員が受け入れられていると感じる職場環境づくりを推進していくことです。私自身も DE&I に関するすべての事柄に高い情熱を抱いており、現代世界の模範的な市民でありたいと願う日本ロレアルにとって、DE&I が真に浸透した組織づくりを現実とするため、すべてのチームと力を合わせて取り組んでいきたいと考えています」

この度新設された委員会のリーダーであり、日本ロレアル人権ならびに DE&I コレスポンデントである谷 亜由美は次の通り述べています。

「DE&I の取組みに関わっていききたいという私の声に応え、今回委員会のリーダーという機会を得られたことに感謝するとともに、意欲を感じています。ボードメンバーと力をあわせ、日本ロレアル社員のリアルな声やニーズを集め、当社における課題を特定し、より多様で公正、包摂的な職場環境づくりの実現に邁進していきます」

¹日本ロレアル株式会社（新宿、大阪、名古屋オフィス、日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター）として

²株式会社コスメロールを含む



写真：
日本ロレアル DE&I コミッティメンバー
© 日本ロレアル

日本ロレアルについて <https://www.loreal.com/ja-jp/japan/>

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2021年末時点での社員数は、2,270人、2021年12月現在の取り扱いブランドは18です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。日本はロレアルグループのなかで戦略的拠点のひとつであり、マーケティングならびに営業拠点のほか、研究開発所（日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター）と製造工場（株式会社コスメロール）とシュウウエムラとタカミの2つのブランドの本社組織（商品企画やグローバル展開施策を策定する組織）を有しています。

ロレアルグループでは活動の中心にDE&Iを据えており、その活動はグローバル機関より下記の通り各種の認定を受けています。

- ・ Equileap（エクイリープ）による男女平等に関する世界ランキングトップ20企業5年連続ランクイン
- ・ 2022年ブルームバーグ男女平等指数 構成企業（5年連続の選定）
- ・ 2021年ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団の企業平等指数で満点獲得
- ・ 2018年にLGBTQIA+差別と闘う国連行動基準を公式に支持した最初の企業の1つ
- ・ 2020年リフィニティブダイバーシティ&インクルージョン・インデックス100社中トップ10企業
- ・ フィナンシャルタイムズによる「Leaders in Diversity 2020」認定企業